

「小中一貫教育」に問題あり 小・中を区分する発達的意思是大きい

「小中一貫教育」について、2012年の中教審「作業部会」の報告と、都筑学・中央大学名誉教授（心理学）の調査・研究から学びます。

制度において対応可能な面が多い、等です。

諸外国は校舎別々

「作業部会」では、諸外国の義務教育制度も調べ、「初等教育段階（小学校）から学校制度を複線化している国はない、

特に地方においては、学校が町の中心になっており、学びの拠点である学校の数が減るのは大きな問題、

一つの自治体の中に、学校制度を複線化した場合の効果は不明、人間関係が固定化し、新たに出発する機会が失われ、閉塞感等を感じる、

受験競争の低年齢化を招く懸念、小中一貫教育で出されている課題は、現行

しかし、「報告書」が出された後、2012年12月に第2次安倍内閣となり、「教育再生実行会議」がつくられ、「義務教育学校の制度化」が打ち出されました。

小6から中1へ調査

都筑学氏は、小学校から中学校へ進学する意味について、2000年から4年間かけた調査を、1万5718人を対象に行いました。

小学校6年の3学期から、中学校1年の1学期と2学期にかけて、追跡調査をしました。小学生は児童と呼ばれ、中学生は生徒と呼ばれる。

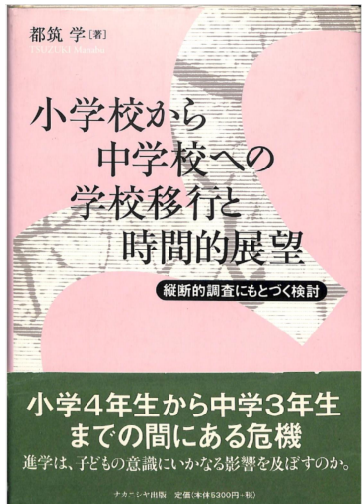
児童期はギャングエイジの時期で、群あつて子どもたちが遊び、大きくなる。

中学生は青年期前期で、チャムシップという時期で、少数の本当に仲の良い親しい人と深い関係を結びながら成長していく。

小学校6年生は最上級生で、下級生のモデルとなるような存在として、発達が一度大きく達成される。

中学校に行くと、最下の学年になるので、最上級生から最下級生へ、大きく変わる体験をする。

その中で、もう一度自分を一からやり直していくという意味で、小学校と中学校を区分する発達的意思是大きい。



ナカニシヤ出版2008.10.20

ふるさと賛歌 5

八栄島村の誕生

明治22（1889）年4月1日、藤島、渡前、東栄、八栄島、長沼の各村が発足した。八栄島村の誕生である。

新村発足は、用水確保のため3集落一致団結すること、そして日向三右衛門が提供した共有財産の絆の基となった。

歴代村長

- 初代 土屋久礼（鶴岡）明治22・7ゝ23・7（有給）
- 2代 日向中兵衛（八色木）明治23・8ゝ29・10（名誉職）
- 3代 中世古一慶（鶴岡）明治30・7ゝ34・7（有給）
- 4代 日向政治（豊栄）明治34・7ゝ38・5（名誉職）
- 5代 鈴木五郎吉（八色木）明治38・6ゝ大正6・6（名誉職）
- 6代 日向順次郎（豊栄）大正6・6ゝ10・6（名誉職）
- 7代 石川米太郎（小中島）大正10・6ゝ14・6（名誉職）
- 8代 鈴木五郎吉（八色木）大正14・6ゝ昭和8・2（名誉職）
- 9代 渡部弥惣兵衛（渡前）昭和10・6ゝ13・6（有給）
- 10代 成田信吉（豊栄）昭和13・6ゝ21・11（有給）
- 11代 日向定吉（豊栄）昭和22・4ゝ24・3（有給）
- 12代 鈴木孝藏（八

色木）昭和24・4ゝ29・3（有給）
昭和29（1954）年12月18日、関係町村議会が合併議決し、新藤島町が誕生した。

村長雑感

鈴木五郎吉村長（八色木）は、明治38年6月から昭和8年2月まで2度、通算で20年間村長として村に貢献された。

特に教育熱心で、東田川郡きつての剛腕で知られた人物であった。健康に恵まれていたが、現職で急逝された。享年59歳。私は入学前であったが、延々と続く葬儀の列を、子ども心に覚えている。

藤沢周平さんが文学の道に進んだ恩師上野元三郎先生を招へいし、自分の家に下宿させた人である。

五郎吉村長が急逝し、渡部弥惣兵衛村長が就任するまで、2年3カ月村長空席となっていた。多分代理を置いたであろう。

渡部弥惣兵衛村長（渡前）は、私が小学校低学年の頃、学校行事で挨拶されたのを見ていた。細身の長身で羽織袴に、八の字の髭をたくわえた立派な人で、悠長な調子でワタナベヤソーベーでござると言っていた。西渡前の故・渡部俊三山形大学名誉教授の家であった。



東田川史跡物語

先号の修正と補足

青山 崇

「共有議事堂」など検討すべきこともあるので、先号を修正・補足する。

まず関係史料全文を載せる。

明治19年8月22日出羽新聞。「東田川郡にて

は本日より連合村会(※一郡連合村会を開き彼の臨時県会に大いに議論ありたる共有議事堂を仮郡役所に貸すや否やをも審議するよ志右に付き視察として本県庶務課より係員一名出張せしと云う」。

令和3年産米生産費

(単位：円)

	10aあたり		60kgあたり	
	山形県	全国	山形県	全国
物財費	81,471	77,954	8,246	8,978
労働費	26,987	33,506	2,733	3,860
生産費	124,227	128,145	12,576	14,758
粗収益	106,910	97,723	10,823	11,256
所得	17,791	11,439	—	—
家族労働報酬	4,622	▲1,914	—	—
粗収益	108,369	99,628	10,971	11,475
所得	19,250	13,344	—	—
家族労働報酬	6,081	▲9	—	—

下段：経営所得安定対策等の交付金を加えた場合

生産費は「資本利子・地代全額算入生産費」

資料：政府統計 農業経営統計調査 農産物生産費「令和3年産米及び麦類の生産費」2023.03.31公表

所得＝粗収益－{生産費総額－(家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代)}

家族労働報酬＝粗収益－(生産費総額－家族労働費)

令和2年産米生産費

(単位：円)

	10aあたり		60kgあたり	
	山形県	全国	山形県	全国
物財費	75,622	77,777	7,960	9,060
労働費	26,613	34,729	2,803	4,044
生産費	116,400	129,186	12,254	15,046
粗収益	123,848	114,012	13,042	13,274
所得	40,814	27,751	—	—
家族労働報酬	28,532	14,009	—	—
粗収益	125,982	115,407	13,267	13,436
所得	42,948	29,146	—	—
家族労働報酬	30,666	15,404	—	—

下段：経営所得安定対策等の交付金を加えた場合

生産費は「資本利子・地代全額算入生産費」

資料：政府統計 農業経営統計調査 農産物生産費「令和2年産米及び麦類の生産費」2022.03.31公表

令和3年産米の生産費(個別経営)

全国平均で、10a当たり資本利子・地代全額算入生産費は12万8145円で、60kg当たりは1万4758円でした。家族労働費と自己資本利子、自作地地代を含めた所得は、10a当たり1万1439円、家族労働報酬はマイナスでした。

新大臣への期待



読者の皆さんにこんな経験のある人はいないですか。俺には一度だけあるんです。というのは、給食費を期限の日までに持っていないので、「一日待つてくれド」と先生にとわる事です。

▲言う俺は、小さくしながら上目遣いで、しかも小さな声でしゃべるのだが、それを受ける先生の嫌々なあの顔。そんな顔を一度ならずも見なければならなかった生徒は、学校がイヤになるやな〜と。

▲我が鶴岡市も、多くの市民の要求に共産党の提案で給食費が無償になった。だから、給食費が遅れると断る苦労は無くなったのだが、思うのは、自民党などで特に何代目ナンテいう議員には、そんな経験はないだろうと。

▲だから、政権党では

とから「共有議事堂」とはいえ、所有者は一郡連合会であるので郡会議事堂とはいえない。また郡会はこの時点で法的に制定されていない。ただ郡役所内敷地を貸しているのので、郡役所が議事堂を使用しても費用はとらない関係だったと思う。したがって、当時の文書も、郡会をとって議事堂とのみしていると思われ、初代郡会議事堂とはいえない。

本当に金がない人の気持ちは判るんだろうかと。給料や年金は上がらずに物価の高騰はビックリを超えているのに何の対策もないんだ。10万円に程遠い国民年金もマクロスライドで削られているんだ。生活保護費も削られて。これが今の政治だよ。▲新しいこども担当大臣には、そんな弱者の事を分かっていて、喜んで子どもを産むことができる社会環境を作って欲しいと思ったんだが、無理なようだ。金のない人の苦労話どころか、隠せない程の金を集めていて何年も遡って訂正しようという苦労をしているようだから。参ったネ。▲先代は、幹事長と官房長官を務めたんだが、そんな力で庄内はどこか良くなったか？角栄さん程でないまでも、あの頃、高速道路とか新幹線とかに明るさはあったか？(石川)